

12月議会 (12月1日~22日)



12月定例会市議会は、13日から常任委員会で議案の質疑が行なわれました。一般質問や議案質疑で日本共産党議員団の質問や要求をお知らせします。

「検討委員会」で給食のあり方を協議すると言いながら 教育長、「大規模給食センター建設」ありきの答弁

合併協議の最大の問題の一つが、旧野洲町の中学校で完全給食を実施するのか、どうかでした。

新市の計画では、大規模給食センター（六〇〇〇食）を合併特例債事業として建設し、中学校給食を行なうことを計画。また、一年前には、「選択制」（弁当を持参できない子は、業者の弁当を注文）を視野に入れた給食も検討されていました。

これに対して、野洲町の九月議会に、「自校方式の中学校給食を求める請願」が提出され、大規模センターでは、「地産地消」にも限界があることが明らかになっていました。

野並市議は、「学校給食を食に関する生きた教材として位置づけ、中学校給食を自校方式で行なうよう」強く求めました。当局は「選択制は考えていない」と表明しましたが、「自校方式は考えていない。給食センターを新築する」と答弁し、大規模センター方式に固執しました。

教育委員会は、教師や子ども、保護者、農業者などで「検討委員会」を作り、協議するとしています。先に結果ありきの「センター方式」で、何を検討するのでしょうか。

高齢者送迎サービス、母子家庭町営住宅家賃補助……。 旧中主町の独自サービスは廃止するな

一般質問で小菅市議は、合併で廃止された旧中主町のサービスを復活するよう求めました。

合併協議では、中主町の高齢者送迎サービスや母子家庭への町営住宅家賃補助制度などの廃止を決め、町議会でもほとんど議論されることなく決定されました。

高齢者送迎サービスは、湖南管内の医療機関や福祉施設へ送迎するサービスで、一人暮らしのお年寄りには大変喜ばれていました。また、母子家庭への家賃補助については廃止どころか、全母子家庭へ対象を広げるべきものです。

小菅市議は、「これまで町民の世論や運動、職員の努力で実現させた制度。廃止することは「合併でサービスは高い方に」とする方針にも反する」と存続を要求しました。

これに対して当局は、「これに変わるサービスを実施」と答弁していますが、これまでの中主町のよきサービスの廃止に変わりはありません。引き続き、みなさんとともに存続めざしがんばります。

廃止された旧中主町の独自サービス	
母子家庭への町営住宅家賃補助	町営住宅家賃の50%を補助。
高齢者送迎サービス	一人暮らしなどで交通手段のない人を病院や福祉施設へ送迎
納税相談	各自治会で実施され、約1000件が利用



お知らせ

「赤旗」日曜版（十一月二十六日号）合併号でお届けします

日頃、日本共産党へのご支援、しんぶん「赤旗」のご購読ありがとうございます。

「赤旗」日曜版（滋賀民報）は、十二月二十八日号と新年一月二日号は「合併号」でお届けします。十二月二十八日号は「新年特別号」として年内にお届けし、一月二日号は休刊となります。これまでの購読に感謝しますとともに、引き続きましてのご愛読をお願い申し上げます。

やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2004年12月19日 No.10

市政へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 (住所) 比江668-3 (TEL) 589-4971 (FAX) 589-6184
野並享子 (住所) 北野1丁目7-10 (TEL) 587-0985 (FAX) 586-1102